

経済産業委員会

平成25年9月10日（火）

午前10時00分～午後0時03分

議会第3会議室

【出席委員】池田正弘委員長、山田誠一郎副委員長、山下伸二委員、原口忠則委員、
亀井雄治委員、堤 正之委員、山口弘展委員、西村嘉宣委員、
江頭弘美委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

- ・交 通 局 眞子交通局長
- ・経 済 部 池田経済部長
- ・市民生活部 喜多市民活動推進課長
ほか、関係職員

【案 件】

- ・決算議案審査について

○池田委員長

おはようございます。ただいまから経済産業委員会を開会いたします。

それでは、審査に入ります前に注意していただきたい点を幾つか申し上げます。

当委員会は会議録作成支援システムを使用しております。発言される方は、必ず挙手を
して委員長の指名を受けてからボタンを押してお話してください。

なお、マイクは後押し優先となっておりますので、発言後にボタンを再度押さないよう
お願いいたします。

次に、審査における注意事項を申し上げます。

執行部におかれましては、限られた時間で集中的な審査を行いますので、簡潔な説明を
心がけてください。

なお、決算額の数字の読み上げは必要ありません。

また、答弁は役職にかかわらず、質問に対して回答ができる方が答弁をしていただくよ
うお願いいたします。

次に、委員の皆様に申し上げます。

質疑は決算審査ですので、その範囲内でよろしくお願いいたします。特に市政一般や予
算に関する質問にならないようお願いいたします。

また、一度に多くの質疑をされますと答弁がわかりにくくなります。質疑をされる場合
は、資料におけるページ数などで質疑項目の該当箇所を示していただき、1回の質問につ

いて2問ぐらいに絞っていただければと思います。よろしく願いいたします。

審査に関連して現地視察の希望がございましたら、マイクロバスの都合もございましたので、早目に申し出をしてください。

なお、決算審査に関連する視察の日程は、11日の審査終了後を予定しております。よろしく願いいたします。

それでは、第68号議案 平成24年度佐賀市自動車運送事業会計決算について執行部から説明を求めます。

◎第68号議案 平成24年度佐賀市自動車運送事業会計決算 説明

○池田委員長

ただいま執行部からの説明がありました。委員の皆さんの質疑をお受けします。

○亀井委員

1つは、局長の事業報告では上屋7カ所を新設ということでしたけど、工事概要では5カ所しかないですね。そのほかの2カ所はどうなっているのか。

それで、5カ所に補助があったということでしたけど、補助のない上屋新設もあるのかどうか。

それと、バイオ燃料を使って軽油費が190万円ほど安くなったということでしたけど、バイオ燃料はただでもらえるものなのか、その辺をちょっと教えてください。

○山田交通局副局長兼業務課長

上屋に関しましては、ここで示しました一般会計で購入したところの5台。一般会計のほかは社団法人公営交通事業協会が設置したところの北陵高校前、上りのほうにバス停の上屋を1台、寄贈を受けております。

それともう1つ、兵庫北区画整理組合が設置して寄贈を受けたところの兵庫北、上りのほうのバス停、これも合わせて7台と。

それと別にですね、1カ所でございますけど、佐賀大学前に設置しておりましたものを東佐賀のほうに移設したものが1台ございます。

○眞子交通局長

バイオディーゼル燃料に関しましては、現在3台走らせております。

私どもは無料で提供を受けまして、そのかわり、そのバスを使った広告はラッピングであれ、いろんな社内の広告であれ、それは自由にしてくださいということで、そういうお互いの連携で環境全体のPRを、バスを使ってしていただくということにして、無料でいただいております。

○山田交通局副局長兼業務課長

先ほど、補助金なしで建てた上屋はあるかという御質問でしたが、ありません。

○池田委員長

ほかにもございますか。

○堤委員

説明の一番冒頭のところで、第1項の営業収益で994万円のマイナスですね。ワンコイン・シルバーパスの分が計画よりも減だったということですが、やっぱりワンコイン・シルバーパスの利用が減っているのでしょうか。そこら辺、もうちょっと詳しく教えてください。

○山田交通局副局長兼業務課長

減っております分を考えると、平成22年度は購入したけども、実際には一度も乗らなかつたというような方がおられて、平成23年度は購入されなかつたという方がちょっと多かつたような気がします。

それと、昭和バスが実はワンコイン・シルバーパスが補助対象ということになって、昭和バスのワンコイン・シルバーパスの購入のほうに流れたと、そのぐらいをちょっと考えております。

○池田委員長

ほかに。

○亀井委員

ちょっと聞き忘れとつた上屋の件で、バス停が何カ所あつて上屋が何カ所設置されているか。

○龍交通局総務課長

御質問にお答えをいたします。

バス停の総数としては680カ所ございます。

ただし、物理的といいますか、上屋が設置できる状況にあるかないかというところで、その680カ所のうち現状で把握しておりますのが、226カ所については上屋の設置が可能ではないかというふうに考えております。

平成24年度末の状況ですけども、その226カ所のうち、設置済みの箇所が136カ所ということで、割合としましては約6割が設置済みという状況でございます。

○池田委員長

ほかにございますか。

○山下伸二委員

済みません。ちょっと帳票の見方がわからないので、教えてください。

1、2ページのところの収入と支出のそれぞれの項ごとの決算額があるのと、16ページ、17ページのところの額が違うのはなぜか、これだけ教えていただけませんか。

○大塚交通局総務課副課長

1ページ、2ページにつきましては予算執行額になりますので、消費税込みの金額になります。

先ほど言われました16ページ、17ページは、消費税を抜いた金額の表示で若干差が出て

おります。

○亀井委員

何で同じにできないのかな。そういうルールがあるわけですか。

○大塚交通局総務課副課長

公営企業の場合は消費税の課税事務所になりますので、基本的に予算は消費税込みで立てて執行いたします。消費税を計算する場合は、通常借受消費税、それから仮払消費税を計算しまして、その差額を納付するという計算を行います。そのときに損益計算書及び貸借対照表は税抜きで作成するという制度になっております。

○池田委員長

ほかにございますか。

○山口委員

16ページ、17ページなんですが、収益的費用の明細書の中で収益のところです。シルバーパス購入助成金でありますとか他会計繰入金等で、要は佐賀市の一般会計からの持ち出し分というのは合計でどの項目で幾らになるのでしょうか。

○大塚交通局総務課副課長

一般会計からの繰り入れ額をまとめた分が決算審査資料23の冊子にございますので、そちらのほうがわかりやすいかと思えます。

佐賀市公営企業会計決算審査意見書の10ページに他会計からの繰入金明細という表がございますが、その内容が一般会計からの繰入金の明細でございます。

○池田委員長

いいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

ほかには質疑ありますか。

では、ないようですので、第68号議案について審査を終了いたします。お疲れさまでした。

◎執行部入れかわり

○池田委員長

それでは、第64号議案 平成24年度佐賀市一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。

まず、歳出第5款について執行部の説明を求めます。

◎第64号議案 平成24年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳出第5款関係分 説明

○池田委員長

ただいま執行部から説明がございましたが、委員の皆さんから質疑をお受けいたします。

○堤委員

労働金庫預託事業ですが、実績からいくと、過去のやつを見ていると残高が結構ありますよね。5,650万円というのは上限みたいに何か設定してあるんですか。

○坂井商業振興課長

この5,650万円を預託しまして、これを原資として勤労者に対して貸し付けをしていただくというふうなことをしてございますけれども、5,650万円の上限があるかどうかということですかね。その上限とかは特段設けてございませんけれども、毎年度ずっとやっておりますもんですから、これを原資として、これを例えば3倍にして貸してくださいとか、4倍にして貸してくださいとか、これを原資として貸してくださいということをお願いをしているという状況でございます。

○池田委員長

ほかにございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようですので、歳出第5款について審査を終了いたします。

それでは、次に歳出第7款商工費について行いますが、大変ボリュームがありますので目ごとに区切って説明を聞いて、質疑をお受けしたいというふうに思います。

まず、第1目商業振興費から3目の金融対策費まで執行部から説明を求めます。

◎第64号議案 平成24年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳出第7款関係分 説明

○池田委員長

以上で区切りたいと思います。

ただいま執行部のほうから1目の商業振興費、2目工業振興費、3目金融対策費の説明がございました。

委員の皆さんから質疑をお受けしたいと思います。

○堤委員

2つありますけど、まず1つは20番の資料の174ページの下のほうですね、流通促進事業ですか、20件の成約があったということなんですが、具体的にどんなものなんでしょうか。ちょっと例を教えてくださいと思います。

○坂井商業振興課長

キムチであったりとか、それとか、あとみそを加工した商品とか、それとあともう1つが、中国に1つ定番商品として採用になっています、麺ですね。会社名を言っていないのか、ちょっとあれなんですけど、海苔パスタですね。これは中国のイトーヨーカ堂。成都と北京に5店と9店で合計14店の店を展開されておりますけども、そこに海苔麺パスタが1つ定番商品として採用になりました。

それと、あと日本国内におきましては、先ほど申し上げましたように、柚子胡椒であるとか、みそとか、キムチとか、そういうものが定番商品として20件採用になったところがございます。

○堤委員

もう1点、次のページの176ページの諸富家具団体等支援事業の600万円ですか、村岡総

本舗前のビルですかね、あそこにサテライトを飾ってあるということだったんですが、この稼働率というか、来場者はどんなふうな状況なか、おわかりになりますか。

○百崎工業振興課長

諸富家具のアンテナショップの件でございますけど、出店期間が平成24年10月30日から平成25年2月24日、118日間の出店でございます。

来場者のほうでございますけど、1,032人来場があっておりまして、売り上げが95万円程度ということで報告がっております。以上でございます。

○堤委員

そこにかかったお金というのは、家賃は幾らぐらいですか。

○百崎工業振興課長

家賃が100万円でございます。

あと、駐車場の使用料ということで9万5,000円支出をされているところでございます。

○池田委員長

ほかにございますか。

○亀井委員

同じ資料の171ページの一番下、「地域ブランド商品」振興事業の中で、伝統的地場産品の新たな商品開発とはどんな商品ができたのか。

それと、次のページの地場産品交流会館管理事業の中で、市内地場産品の情報発信拠点として会館の運営を行ったということですが、ここで実際に商談とかがどのぐらい行われたのか。

それと、あと1つは179ページの同和金融対策事業の下のほうですね、金融貸付事業、これは残金は平成24年度末で幾らあるのか。

○坂井商業振興課長

まず、同和金融のほうでございますけれども、納期到来分でもよろしゅうございますでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

納期到来分でございますと、未収になっているものとしましては1億8,534万6,006円でございます。

それと、あと新商品ですけども、和紙ですね。和紙が結構大きなものというか、小さなものが多いんですけども、それをちょっともう少し大型化して、例えば壁紙に使ったりとか、そういうふうな売り出し方はないだろうかというふうなことを考えておりまして、それをつくる型枠というか、そういうものにかかったものが新たに商品として売り出されたということでございます。

それと、あと売茶翁ですね。売茶翁顕彰会の方で、あそこで売茶翁のお茶の普及促進もされておりますが、そこで売茶翁茶というものを開発されて、それを新たにまた売り出さ

れて、自分たちの活動資金にされたりとか、そういうことをされております。

それと、バイヤーを時々呼んできていますけども、そこでですね、あそこで商談をやったりとかいうことはやってはおりますけども、ちょっと数までは把握は済みませんが、しておりません。

常時というか、年に数十回バイヤーは佐賀を見に来たりするわけですね。例えば、佐賀県麓どり三瀬村という店が田町と銀座、議員の皆さん行かれたと思いますけれども、彼らも結構商談探しに年に1回ぐらい来るんですよね。佐賀に3泊とか4泊とかして、ぐるっと見て回るんですけども、彼らを連れてきてあそこで商談したりとか、あとは例えば百貨店ですね。三越あるいはイトーヨーカドー、そういうふうなバイヤー、あと良品計画、そういうふうな通販事業者を呼んできて、あそこで商談したりとか、あと去年やったのがセブンネットショッピング。初めてやったんですけども、セブンネットの通販サイトの人が来て、佐賀で商材を探しに来たんですよね。かなり大規模な何兆円という市場規模のサイトですけども、そういう人たちがやってきてそういう商談会とかをやったんですけども、そういうふうな会場に使ったりとか、そういうふうバイヤーが来たときは都度使っているという感じでございます。

○亀井委員

済みません。さっきの和紙は名尾和紙ですか。

○坂井商業振興課長

名尾和紙が伝統的地場産品に5品目指定ございまして、そのうちの一つでございます。名尾和紙でございます。

○池田委員長

ほかにございますか。

○山下伸二委員

20番の資料の175ページの工業振興費のところ2点お伺いしたいんですけども、下のほうの展示会・見本市等出展支援事業、これ8件なんですけども、えらい少ないような気がするんですけども、こういった支援事業というのはきちっとそういった事業者周知がされているのかどうか。8件程度の出展ではないと思うんですけども、その辺どうですか。

○百崎工業振興課長

市報のほうでも年2回広報しておりますし、もちろんホームページのほうにもそういう事業があるということは掲げております。会合のある際にこういう事業がありますよと御紹介もしておりますので。

○山下伸二委員

もう1回、済みません。その下の「発見！佐賀の元気企業」ですけども、これ私見たことなかったんですけども、どこ向けにどういった内容の情報発信をされているのかちょっと教えていただいていた方がいいですか。

○百崎工業振興課長

まず、掲載している内容でございますけど、企業の概要であったり、その分を掲載しております、外向けに申しますとビジネスマッチングとか、その辺までつながればということ考えてやっているところでございます。

○池田経済部長

ちょっと補足して説明します。

ビジネスマッチングというんですが、どういった機械を持って、どういう加工技術を持っているかということアピールすることによって、やっぱりそういうのを大企業の皆さん方は探されているんですね。そういうところにちゃんと私たちがその情報を提供して、企業を御紹介できるようにということをつくったものでございます。

○山下伸二委員

ここはアクセス数とかカウントされていますか。

○百崎工業振興課長

アクセス数につきましては1万7,924件でございます。これは年間でございます。

○池田委員長

ほかにございますか。

○江頭委員

20番の170ページのまず1つは商工会支援事業の4,700万円ですね。これは北商工会と南商工会の内訳をお願いします。

○坂井商業振興課長

南が2,748万4,000円、北が1,953万6,000円でございます。

○江頭委員

説明のときに、例えば、その下に地区商店街支援事業とか、商業者育成事業、体験型等、地域コミュニティ、この4つあるんですけど、説明のときにこれは商工会議所が行ったという説明だったんですけど、それでいいんですか。

○坂井商業振興課長

地区商店街につきましては各町の商店街、あと商業者育成事業につきましては佐賀市南商工会に委託して行ったものでございます。商業者育成は佐賀市南です。コミュニティマートにつきましては佐賀商工会議所でございます。

○池田委員長

ほかにございますか。

○山田副委員長

同じ資料の170ページ、商業者育成事業100万円ですけども、これは受講者が8店ということだったんですけど、それぞれトータルで100万円で各商店とか、そういう事業所に指導とか、そういうことに行ってトータルで100万円なのか、1店幾らなのか。

そのことと、これは市の単独事業なのかということ。

○坂井商業振興課長

これは全て戸別、最初から公募をしまして、佐賀市南商工会に加入の方に公募いたしまして、それで講師を雇いまして、1件1件個別指導を行うという全部の事業でございまして、これは市の単独事業でございます。

○山田副委員長

これは平成24年度単年度の事業なのかどうか。

○坂井商業振興課長

これは最初、佐賀商工会議所の管内でやっておりました。その次に佐賀市北商工会の管内でやっておりました。

平成24年度からは佐賀市南商工会の管内でやるというふうなことでございます。

○池田委員長

ほかにもございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ほかにはないので、次に4目の観光費から7目熱気球大会開催費までの説明を執行部からお願いします。

◎第64号議案 平成24年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳出第7款関係分 説明

○池田委員長

ただいま、4目の観光費から7目熱気球大会開催費まで説明がございました。

委員の皆さんからの質疑をお受けします。

○江頭委員

20番の180ページの三瀬城跡情報発信事業の235万4,000円について、具体的にもう一回説明をよかですか。

○香月経済部副部長兼観光振興課長

具体的には、まず、三瀬城跡周辺の見渡しが開けるように樹木について枝打ちとか伐採をいたしました。

2つ目がキャラクターの作成ですね。三瀬城址のPRのために、三瀬城の城主でありました神代勝利のキャラクターを制作いたしました。

また案内板の整備をしております。三瀬城址への駐車場から山頂の城址までの案内看板と説明板を設置しております。

このほかにゆかりの地マップ作成ということで、神代勝利にゆかりのある土地を案内するガイドマップを作成いたしました。

○江頭委員

これは済みません、今年度も事業費ついていきますか。幾らついていきますか。

○香月経済部副部長兼観光振興課長

今年度の事業費でしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

260万円ほどでございます。

○江頭委員

これは何年度からだったですかね。

そして、今までのトータル、何年度からついてどのくらいかけているのか。

○香月経済部副部長兼観光振興課長

この事業は平成24年度から始めたものでございます。

○江頭委員

今年度も260万円ついて、実際何年度までの計画で、どういう整備をしていくのかというのをちゃんと立ててここの開発をされていると思うんですけど、これ決算とは、次の予算的な問題もあるんですけども、これは関連していますので、実際にその計画ですよ、どこまでどうここをやっていきたいのかというのが、平成24年度からこれをやり出したときに継続的にどこまでどういう整備をしていきたいと思われているのか、説明をよろしいですか。

○香月経済部副部長兼観光振興課長

この事業の大きな考え方なんですけど、富士、三瀬というのは、今、福岡市に隣接して非常に観光客の方がふえてきています。

今の食べ物とか温泉とかということで来られていますが、これに次、歴史の切り口を加えようということで神代勝利というところに注目をしたものでございます。

まず、ハードの整備につきましては、山頂にあります城跡まで登っていくような道をまず整備するというところでございます。これが平成25年度まで行いまして、次はソフトの部分になります。

これはマップをつくっておりますが、このマップを使って三瀬、富士、大和までの神代勝利にゆかりのある土地で歴史的な観光開発をやっていこうというような事業になります。

○江頭委員

そしたら、何年度までということはまだ未定ですか。

○香月経済部副部長兼観光振興課長

そのソフト事業につきましては何年度までということは決めておりません。

○江頭委員

確認です。

ハード事業、要するにそこまでの道のりの整備というところで、平成25年度にこのハード的な260万円で、あとはもうソフト事業という形に切りかわるということでもいいんですね。

○香月経済部副部長兼観光振興課長

そういうふうに予定しております。

○池田委員長

ほかに。

○亀井委員

ちょっと関連ですが、どういう案内板か、こういう事業があっていたということを私が認知していなかったので申しわけないんですが、多分、PRが足りなかったのかなという印象を受けています。

神代氏は、後に龍造寺氏の一武将みたいな形になったりとか、その後は鍋島氏と養子縁組等を繰り返して、結局名字も鍋島にかわっていくわけですね。そこら辺の歴史を説明したようなものとかも現地にはあるんでしょうか。

○香月経済部副部長兼観光振興課長

林道のそばに駐車場があるんですけど、そこから上っていくところに山城のことと神代家の簡単な説明がありますが、鍋島家に伝わるようなそこまでの記載はなかったと思います。

看板につきましては、散策路といいますか、少し登っていく道の途中途中にこちらのほうが三瀬城址ですというようなサインといいますか、案内板をつけております。

○池田委員長

ほかにございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

なければ、次に8目の消費者行政費から10目エスプラッツ費までの説明を求めます。

◎第64号議案 平成24年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳出第7款関係分 説明

○池田委員長

ただいま執行部から8目の消費者行政費から10目のエスプラッツ費までの説明がございました。

委員の皆さんの質疑をお受けいたします。ありませんか。

○江頭委員

消費者行政費というのは、こういう事業は当初組めば、補正予算が100万円組んであるんですね。普通こういう事業というのは大体当初でほとんど変わらない、入れかえというのは余らないと思うんですけど、この100万円というのは何があったんですか。

○喜多市民活動推進課長

平成24年度の途中で消費者行政活性化基金が増額になったということで、その分に対応して補正を上げさせていただいた経費でございます。

○江頭委員

それは要するに国、県の支出金が途中ふえたから補正ということではないんですか。

○喜多市民活動推進課長

大もとは国からですけれども、県の基金に積み立てをされまして、そこから交付される分でございます。

○池田委員長

ほかにございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようですので、これで第64号議案中歳出第7款についての審査を終了いたします。どうもお疲れさまでした。

次に、第71号議案 平成24年度佐賀市工業用水道事業会計決算について執行部の説明を求めます。

◎第71号議案 平成24年度佐賀市工業用水道事業会計決算 説明

○池田委員長

ただいま執行部のほうから説明がございましたが、委員の皆さんから御質疑をお受けします。

○亀井委員

決算とは余り関係ないかもわかりませんが、この事業そのものは上下水道局に移管とかいうことはできんとですか。

○百崎工業振興課長

下水道事業も今、上水道のほうに移管をされて統合という形になっておりまして、そういう意味合いもあって、今、工業用水事業も水道局に移管できないかということで、事務レベルですけども今協議に入っているところでございます。以上でございます。

○池田委員長

ほかにございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、御質疑ないようですので、本日の議案審査をこれで終了いたします。

執行部の皆さんは退席されて結構です。

◎執行部退室

○池田委員長

本日の審査、お疲れさまでした。

あしたは午前10時に再開をいたします。

本日の経済産業委員会をこれで終了いたします。大変お疲れさまでした。